

**平成 31 年度(令和元年度)  
札幌市アイヌ施策について**

**札幌市**

## 目 次

施策目標 1：市民理解の促進	1
推進施策（1）：伝統文化の啓発活動の推進	1
①アイヌ文化体験講座の実施	1
②アイヌ文化交流センターイベントの実施	1
③アイヌ民族古式舞踊（輪踊り）の実施	1
④小中高校生団体体験プログラムの実施	1
⑤小中高校生団体出前体験プログラムの実施	1
⑥公共空間を利用した情報発信	1
⑦市民参加によるアイヌアートモニュメントの制作	1
⑧インカルシペ・アイヌ民族文化祭の開催を支援	1
⑨アイヌ文化振興・保存・伝承活動への補助	2
⑩“イランカラテ” キャンペーンの推進	2
⑪アイヌ文化を発信する空間の管理運営	2
⑫アシリチェプノミ保存伝承事業補助（市民文化局文化部事業）	2
⑬シーニックバイウェイ連携事業（南区市民部事業）	2
推進施策（2）：教育等による市民理解の促進	3
①新任課長職への研修の実施	3
②新採用職員への研修の実施（総務局自治研修センター）	3
③札幌市民族教育に関する研修会（教育委員会学校教育部事業）	3
④札幌市教育センター専門研修（教育委員会学校教育部事業）	3
⑤札幌市研究開発事業（研究課題）「アイヌ民族に関する教育」（教育委員会学校教育部事業）	3
⑥人権教育推進事業（教育委員会学校教育部事業）	3
⑦「生物多様性さっぽろ活動拠点ネットワーク」（環境局環境都市推進部事業）	3
（関連事業①）さっぽろ市民カレッジ 学社融合講座（教育委員会生涯学習部（公益財団法人札幌市生涯学習振興財団 生涯学習センター指定管理事業））	3
施策目標 2：伝統文化の保存・継承・振興	4
推進施策（1）：アイヌ民族の歴史を尊重する施策の推進	4
推進施策（2）：伝統文化活動の推進	4
①札幌市アイヌ文化交流センターの運営	4
②札幌地域イオル事業の受託及び実施	4
施策目標 3：生活関連施策の推進	4
推進施策（1）：産業振興等の推進	4
①民芸品振興等可能性調査等業務の実施	4
推進施策（2）：生活環境等の整備	4
①住宅新築資金等の貸付	4
②アイヌ生活相談員・アイヌ教育相談員の配置	4
③アイヌ民族の児童・生徒の学習支援	4
その他の予算	5

※本書に掲載している予算額は、市民文化局市民生活部に関連する予算額で

## 施策目標 1 : 市民理解の促進

### 推進施策 (1) : 伝統文化の啓発活動の推進

(予算額 H30 250,405 千円、H31 33,192 千円)

#### ①アイヌ文化体験講座の実施

アイヌ語、手芸、工芸、料理等の体験講座を実施する。

開催予定場所：アイヌ文化交流センター、北区民センター、東区民センター、  
西区民センター、北海道大学

#### ②アイヌ文化交流センターイベントの実施

アイヌミュージック、古式舞踊、ムックリ・刺繍等製作体験、昔話、昔遊び、紙芝居等を実施する。

#### ③アイヌ民族古式舞踊（輪踊り）の実施

アイヌ文化交流センターにおいて、来館者等によるアイヌ民族の古式舞踊（輪踊り）の体験を実施する。

#### ④小中高校生団体体験プログラムの実施

アイヌ文化交流センターにおいて、小中高校生に伝統楽器の演奏、古式舞踊の披露、アイヌ伝統文化の体験、展示解説等を実施する。31年度の参加校数は、80校を目標とする。また、交流センターに来館するために必要なバスの借り上げ費用については、30台分の負担ができるよう予算確保している。

#### ⑤小中高校生団体出前体験プログラムの実施

遠隔地にあるなどの事情により、アイヌ文化交流センターに来館しての体験プログラム実施が困難な学校等に出向いて、伝統楽器の演奏、古式舞踊の披露、アイヌ伝統文化の体験等を実施する。(目標校数：50校)。

#### ⑥公共空間を利用した情報発信

さっぽろ夏まつり等のイベントの開催に合わせて、アイヌ民族の伝統的楽器の演奏や歌、踊り等を実施する。

また、アイヌ民族に対する市民理解の促進を目的として、タペストリーをJRタワー1階西コンコース、札幌駅前通地下歩行空間及び札幌市役所本庁舎に継続して設置する。

#### ⑦市民参加によるアイヌアートモニュメントの制作

市民が「見て」、「触れて」アイヌ文化を感じていただくというコンセプトにより、公募した市民とアイヌ刺繍作家によりアイヌ文様タペストリーを制作し、札幌駅前通地下歩行空間（チ・カ・ホ）の地下鉄南北線さっぽろ駅側の柱に展示する。

#### ⑧インカルシペ・アイヌ民族文化祭の開催を支援

札幌アイヌ協会が開催するアイヌ民族シンポジウム、ペウレアイヌの集い、ムックリ大会、トンコリ大会、アイヌミュージックコンサート、アイヌ民族の生活文化や歴史等に関するパネル展示に対し、補助を行う。

### ⑨アイヌ文化振興・保存・伝承活動への補助

アイヌ民族の歴史や文化に対する市民理解を促進するため、札幌アイヌ協会が実施するアイヌ文化の保存・伝承、各種学習会等の実施にかかる費用補助を行う。

### ⑩“イランカラッテ”キャンペーンの推進

公共空間等を活用して、国や北海道とともに取組む“イランカラッテ”（こんにちは）キャンペーンを展開する。

- ・市役所本庁舎前にキャンペーンを啓発する大型フィルムシートを継続設置
- ・市役所が実施する職員研修や各種体験講座等の実施に際して、参加者にリーフレット配布
- ・フラワーカーペット 2019 会場にて北海道、内閣官房アイヌ総合政策室北海道分室、公益財団法人アイヌ民族文化財団と協力し、キャンペーン啓発活動を実施した。



### ⑪アイヌ文化を発信する空間の管理運営

2019年3月に共用を開始した「アイヌ文化を発信する空間（ミナパ）」の管理運営及び維持更新を行い、継続的にアイヌ文化への理解の促進を図る。

### ⑫アシリチェプノミ保存伝承事業補助（市民文化局文化部事業）

豊平川河川敷（南7条大橋上流左岸）において、アイヌ民族の伝統文化であるアシリチェプノミ（新しい鮭を迎える儀式）を再現することにより、広く市民に理解の輪を広げるとともに、その文化を保存・継承する取組を支援する（行事内で披露される「アイヌ古式舞踊」は国指定重要無形民俗文化財である。）。

### ⑬シーニックバイウェイ連携事業（南区市民部事業）

南区内の40団体（連合町内会、商店街、大学、集客施設等）により構成され、南区の魅力アップとPRを行っている「札幌シーニックバイウェイ」の活動支援として、スタンプラリーやPRパンフレット等の配布を行う。

※アイヌ文化交流センターは代表者会議の構成メンバーとして参加している。

## 推進施策（２）：教育等による市民理解の促進 （予算額 H30 123 千円、H31 126 千円）

### ①新任課長職への研修の実施

新任課長を対象として、アイヌ民族の歴史・伝統文化や現在置かれている状況、国の動向等について研修を実施する。

### ②新採用職員への研修の実施

新採用職員を対象として、アイヌ民族の歴史・伝統文化、人権に関する基礎研修を実施する。（主催：総務局自治研修センター）

【平成 31 年度事業実績】開催日時：平成 31 年 4 月 4 日（木）、5 日（金）

受講者数：365 人

### 【教職員・子ども向け】

#### ③札幌市民族教育に関する研修会（教育委員会学校教育事業）

学校におけるアイヌ民族の歴史・文化等に関する指導事例の交流や、「アイヌ文様ストラップづくり」、アイヌ民族に関する教育の在り方についての意見交流を行うことにより、学校におけるアイヌ民族に関する教育及び人権教育の充実を図ることを目的として開催する。

#### ④札幌市教育センター専門研修（教育委員会学校教育事業）

本市に採用された初任教諭やその他の教諭を対象として、アイヌ民族の文化や民族教育に関わる研修講座を実施する。

#### ⑤札幌市研究開発事業（研究課題）「アイヌ民族に関する教育」（教育委員会学校教育事業）

アイヌ民族に関する教育推進の諸課題を踏まえた教材の開発や指導方法の工夫等、実践的な調査研究を行うことを通して、アイヌ民族に関する教育の普及・啓発を図る。また、幼稚園・学校への民具の貸出しを積極的に行う。

#### ⑥人権教育推進事業（教育委員会学校教育事業）

「札幌市学校教育の重点」に位置付けている「人間尊重の教育」について、人間尊重の教育に向けた 3 つの視点（「校種間の連携による連続性のある教育の推進」、「教師自らの人間尊重の意識の向上」及び「子ども自身が自分を振り返り、人間尊重の意識の高まりに気付く手立ての構築」）に基づいた推進と充実を図る。

### 【市民向け】

#### ⑦「生物多様性さっぽろ活動拠点ネットワーク」（環境局環境都市推進部事業）

市内における生物多様性保全の取組を効果的に進めることを目的に、平成 30 年度に引き続き、アイヌ文化交流センターを「生物多様性さっぽろ活動拠点ネットワーク」の活動拠点の一つとして位置付け、アイヌ民族の伝統文化や自然観の普及啓発を通じて、市民の生物多様性に対する理解の促進を図る。

#### （関連事業①）さっぽろ市民カレッジ 学社融合講座（教育委員会生涯学習部（公益財団法人札幌市生涯学習振興財団 生涯学習センター指定管理事業））

市立札幌大通高校で開講している、さっぽろ市民カレッジ学社融合講座にてアイヌ文化に関する講座を開催する。

## 施策目標 2 : 伝統文化の保存・継承・振興

### 推進施策 (1) : アイヌ民族の歴史を尊重する施策の推進

### 推進施策 (2) : 伝統文化活動の推進 (予算額 H30 56,707 千円、H31 56,023 千円)

#### ①札幌市アイヌ文化交流センターの運営

アイヌ文化の保存・継承・振興、市民との交流等を促進するため、札幌市アイヌ文化交流センターで次の事業を行う。

(再掲)・アイヌ文化体験講座

- ・アイヌ文化交流センターイベント
- ・アイヌ民族古式舞踊 (輪踊り)
- ・小中高校生団体体験プログラム

※出前体験プログラムも、希望のあった学校等で実施

また、老朽化した展示物について、計画的に更新・改修を進める。

#### ②札幌地域イオル事業の受託及び実施

札幌地域におけるアイヌの伝統的生活空間再生事業 (イオル事業) を推進するため、事業主体である公益財団法人アイヌ民族文化財団から事業を受託する。

自然素材育成事業、体験交流事業 (民具・料理・子ども遊び)、空間活用事業 (古式舞踊) を実施する。

## 施策目標 3 : 生活関連施策の推進

### 推進施策 (1) : 産業振興等の推進 (予算額 H30 2,500 千円、H31 2,500 千円)

#### ①民芸品振興等可能性調査等業務の実施

平成 29 年度から実施している調査の 3 年目として、H31 年度は、ターゲット層 (男女・年齢) を絞った商品企画と試行販売による効果確認、展示販売スペースの設置に必要な機材・費用の把握等、展示販売スペースの実現・維持に必要な調査を継続する。

### 推進施策 (2) : 生活環境等の整備 (予算額 H30 46,876 千円、H31 46,901 千円)

#### ①住宅新築資金等の貸付

アイヌ民族の居住環境整備改善のため、住宅の新築、改修、宅地取得等の資金貸付を行う。

#### ②アイヌ生活相談員・アイヌ教育相談員の配置

アイヌ生活相談員を 2 名配置し、生活に関する相談に対応する。(1 名はアイヌ文化交流センター、1 名は共同利用館に配置)

※アイヌ教育相談員は、教育委員会がアイヌ文化交流センターに配置する。

#### ③アイヌ民族の児童・生徒の学習支援

夏季・冬季休業期間等を利用してアイヌ民族の児童・生徒に対し、学習支援を行う。

## その他の予算

(予算額 H30 12,892 千円、H31 16,504 千円)

【主な項目】・共同利用館運営費、事務費（職員人件費）、アイヌ施策推進委員会経費、住宅貸付滞納整理経費等